

金利上昇で買うべきか？ 銀行株のミカタ

2022/01/13

Contents	No
<u>米長期金利は上昇</u>	4
<u>銀行株上昇も、なお割安感あり</u>	5
<u>銀行ビジネスモデル概観</u>	6
<u>疑問①: 国内金利は上がるのか?</u>	7
<u>金利引き上げはインフレ抑制のため</u>	8
<u>国内金利が上がるとしたら円安抑制</u>	9
<u>海外運用資産状況</u>	11
<u>疑問②: 金利上昇で業績・株価は?</u>	12
<u>金利と業績が連動しない理由</u>	13
<u>イールドカーブ</u>	14
<u>結論</u>	15

米長期金利は上昇

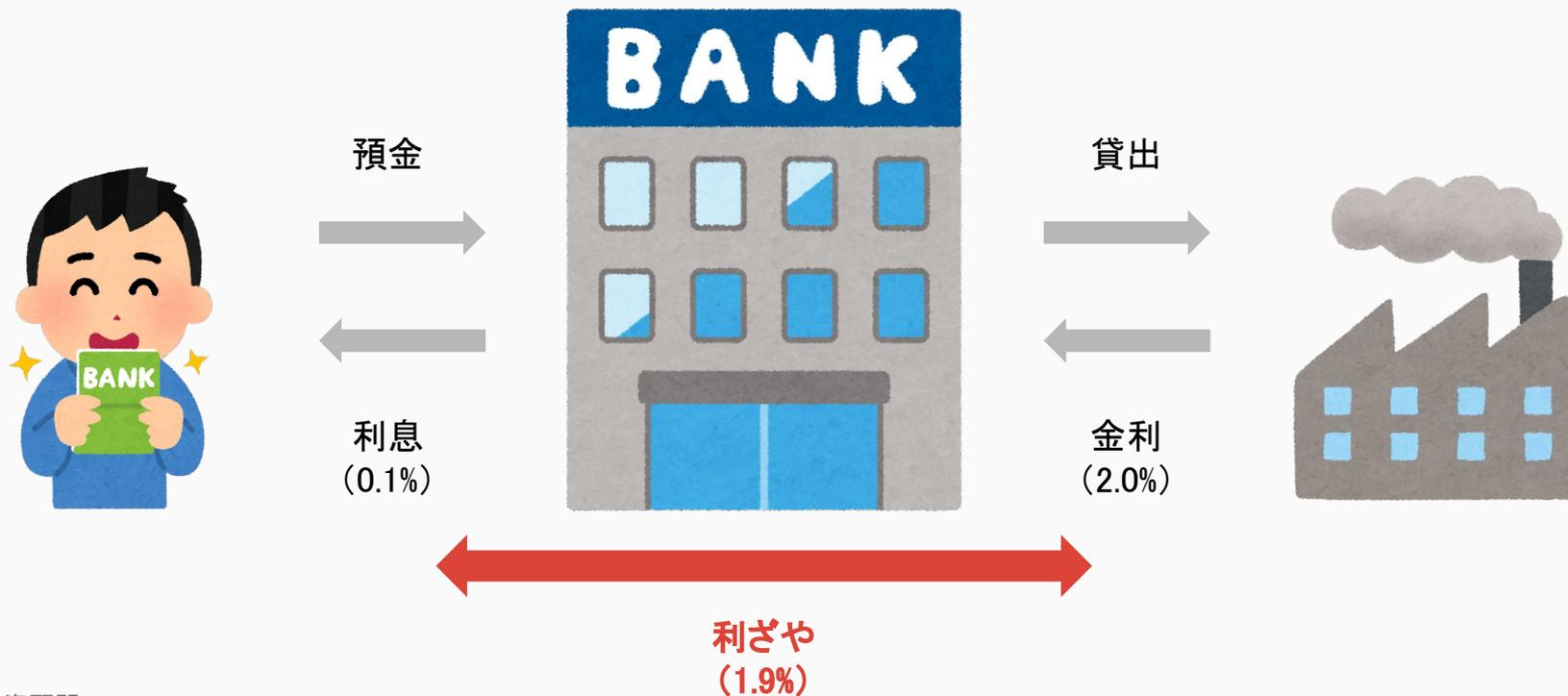


(c)Quants Research Inc.

銀行株上昇も、なお割安感あり



銀行ビジネスモデル概観



疑問①：国内金利は上がるのか？



金利引き上げはインフレ抑制のため

 消費者物価指数 (CPI) [前年同月比] 重要度: ★★★

2022年1月12日 22:30
(次回2022年2月10日発表予定)

  米ドル/円 変動幅 **-0.188円**

結果: **7%** 予想: **7%** 前回: **6.8%**

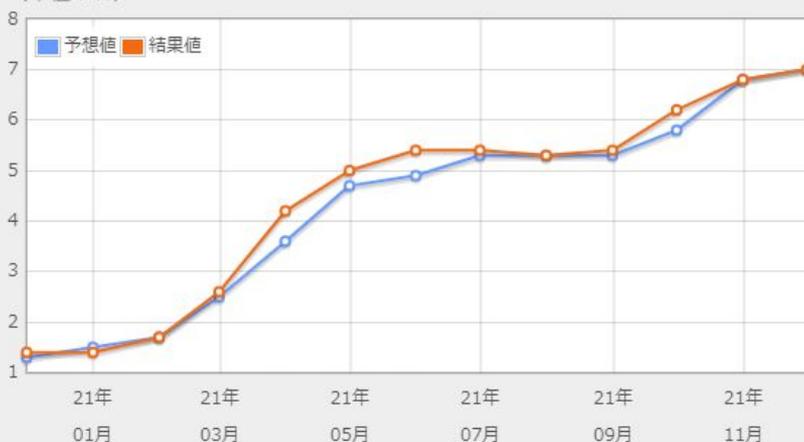
 全国消費者物価指数 (CPI) [前年同月比] 重要度: ★★★

次回 2022年1月21日 08:30発表予定

  米ドル/円 変動幅 **0.001円**

結果: **--%** 予想: **--%** 前回: **0.6%**

(単位: %)



(単位: %)



国内金利が上がるとしたら円安抑制



ドル金利上昇



ドル高／円安



輸入価格上昇(困窮)



やむなく利上げ



ドル円レート



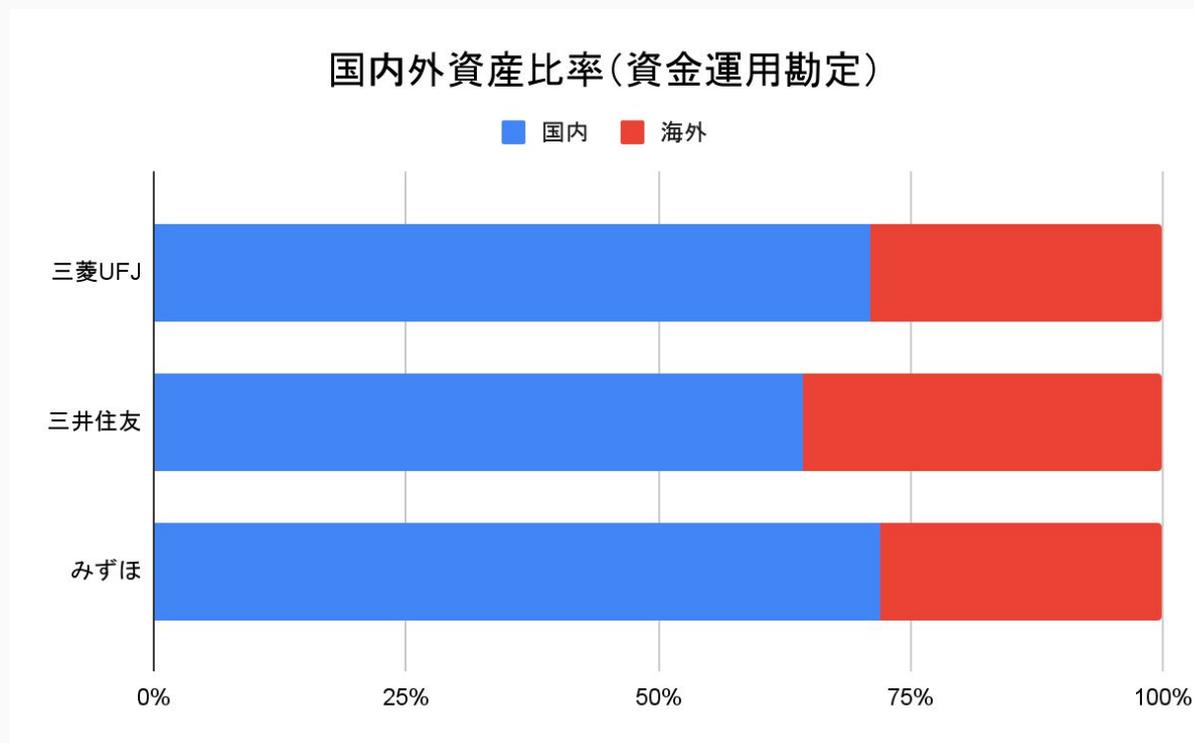
1ドル = 130円

円安

が来る



海外運用資産状況



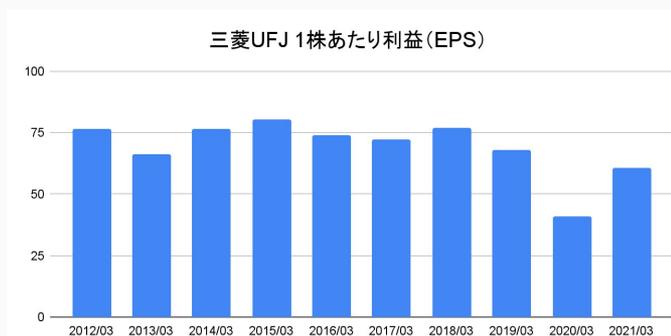
疑問②: 金利上昇で業績・株価は？

金利



(c)Quants Research Inc.

経常利益



株価



金利と業績/株価はあまり連動していない

金利と業績が連動しない理由

仮説①

1%以下の微々たる変動では影響小

仮説②

本質は「長短金利差」

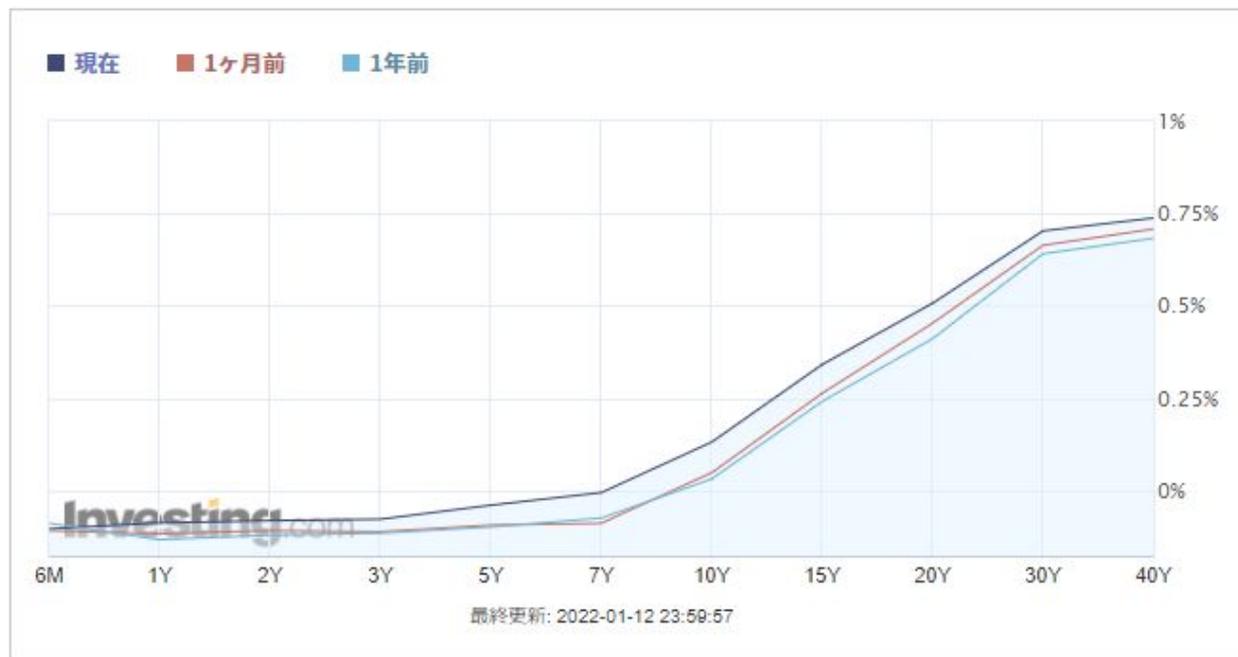
仮説③

オーバーバンキングによる金利競争

イールドカーブ

日本 »

イールド・カーブ



結論

1. 国内金利が米国と連動して上がるかどうかは**不透明**
2. 国内金利が上昇したとして、
過去10年の業績・株価の連動性は低い
3. **上昇基調の継続** あるいは **イールドカーブの鋭化**が
あれば長期的な株価の伸びも期待できる

投資家行動

1. 割安感で保有していた人
→ 利確のタイミングを探る
2. 配当目的で保有していた人
→ 基本保有継続だが利確もあり
3. これから買おうと思っている人
→ まだ悪くないかもしれないが、売りどきは意識

つばめ投資顧問のパイロット運用



1

波乗り銘柄

【1～2年】好調が見込める企業・業界



2

激安銘柄

【3～5年】過度に割安な優良企業



3

長期成長銘柄

【10年以上】いつ買っても良い王道銘柄

つばめ投資顧問のサービス

パイロット運用

週次レポート

無料相談

会員限定セミナー

※銘柄相談、面談は別途有料

30日間 15,000円

入会金 ~~30,000円~~ → **15,000円(1/31まで)**